



原っ子だより

東広島市立原小学校

校長 中野 詠美子

R7.11.25



いよいよ冬到来！

一気に冬が到来したように感じる11月の全校朝会。校長から、学習発表会に向けて、一人一人の役割を果たすことの大切さについて次のような話をしました。

ジグソーパズルという遊びがあります。このパズルは、一つでもピースが揃わなかったら、絵が完成しません。これは、学習発表会の舞台と同じだと思います。舞台発表には、セリフを言う人、歌う人、楽器を演奏する人、道具を準備する人等、一つ一つの大切な役割があります。一人一人の役割というピースがクラスの人数分揃って初めて、一つの舞台発表の作品が完成します。自分の役割をしっかりと果たし、最高の発表を披露しましょう。

みんなの心を一つに！ 学習発表会

11月15日(土)、本校で学習発表会を開催しました。各学年とも、発表会に向けてこれまでの学びをもとに、豊かに表現し、ふりかえるという一連のプロセスを大切に取り組んできました。学習発表会は、本校が育てたい資質・能力の一つ「表現力」を意識した行事です。「表現力」とは、「自分の感情や思いを他者に分かりやすく伝える力」と捉えています。今回の学習発表会では、全ての児童が、今の自分の力を出し切って表現することができていたと思います。ご観覧された多数のご来賓・保護者・地域の皆様、児童へ大きな拍手をいただきましてありがとうございました。

◆1年生「劇 なかよし 1ねんせい」



学年目標「なかよし」をテーマに、1日の学校生活を劇として表現しました。一人一人が自信をもって堂々と体育館に声を響かせて表現していました。

◆2年生「音楽 スマイル コンサート」



学年目標「スマイル」をテーマに、音楽科で学習した合唱・合奏等をクラスみんなで力を合わせて表現しました。自分たちの思いがしっかりと伝わるような工夫が素敵でした。

◆3年生「音楽 原小万博」



「一生懸命、明るく、笑顔で」をクラス目標にし、世界五か国の音楽を合奏・合唱で披露しました。合唱「世界が一つになるまで」は、手話も交えて心を込めて歌っていました。

◆4年生「音楽 めざせ!最高到達点」



学年目標「喜怒哀楽」を合唱・合奏等で表現しました。透き通る美しい歌声は、聞いている人の心を打ちました。合奏曲「最高到達点」では、練習の成果を披露していました。

◆5年生「表現 あやめの前 伝説」



「あやめの前伝説」23代目を立派に務めました。事前に外部講師の先生から篠笛やあやめの前伝説に係る歴史を学び、伝説の世界観をダイナミックかつ感動的に表現しました。

◆6年生「スクールバンド みんなと奏でるキセキ」



「感謝」の気持ちをこめたラストステージでした。体育館に響き渡る美しい金管楽器の音色は、1年間の練習の賜物でした。見ても聴いても楽しめる見事なステージとなりました。

交通安全ボランティアさんとのつながる会 開催

10月29日(水)、本校の体育館にて、交通安全ボランティアさんをお招きして、つながる会を開催しました。ボランティアさんと児童との交流を深め、交通安全に対する意識を高め、安全な登下校ができるようにすることをねらいとして、今年初めて開催しました。ボランティアさんのことをもっと知るために設けた質疑応答コーナーでは、「なぜ、ボランティアをはじめたのですか?」「朝は、何時に起きておられますか?」等の質問をしていました。ボランティアさん代表として、井上順一さんから、交通安全のマナーやルールを守ることは、相手を思って行動することであり、思いやりという宝を表に出せる小学生になってほしい、というお話をいただきました。ボランティアさんとの絆を深めることができる素敵な会となりました。



第2回学校運営協議会 開催



10月30日(木)に第2回学校運営協議会を開催しました。まず、学校から取組の中間報告(学力向上に向けた取組・研究推進の取組・生徒指導の取組・体力向上、健康・食育の取組)を行いました。そして、新しく取組を進めているCS応援事業のねらいと実際の取組について北岡地域学校協働活動推進員から報告がありました。その後の熟議では、「自分の思いを相手に伝える子をめざして」というテーマで「地域・家庭・学校でどのようなことを取り組んでいくかについて考えました。地域・家庭・学校が一体となって取り組むことが共通認識されました。(詳細は、11月18日付けて発行済みのCSだよりに掲載)委員の皆様、ありがとうございました。

道徳参観日 ~考えよう!かけがえのない命~

11月1日から7日は「ひがしひろしま教育週間」でした。この期間は、学校、家庭及び地域社会が一体となって、子どもたちのかけがえのない命を守り、輝かせるための取組を行うことにしています。本校では、11月5日(水)に、道徳参観日を実施しました。1年生から6年生までそれぞれの発達段階に応じて、教材や内容を工夫し、「命の尊さ」について考える授業を行いました。授業を通して、子どもたちは、自らの命や周りの人々の命の尊さについてしっかり考えていました。



歯みがき点検 実施



11月8日の「いい歯の日」にちなんで、食後の歯磨きを習慣化し、一生使う自分の歯を大切にしようとする意欲を高めるために、11月4日から14日までの期間を、歯みがき強化週間としました。給食後、保健委員会の子どもたちが中心となり、各学年の手洗い場に行き、歯みがき指導を行いました。「歯ブラシの正しい持ち方はこうだよ。」「歯ブラシをこうやって歯に当てて磨くんだよ。」と言いながら、詳しく教えました。食べ物を美味しく食べるために、80才になっても20本以上自分の歯を保つことが大切だと言われています。是非、ご家庭でも歯みがきの大切さについて話してみてください。

あいさつ名人 認定!

9月に行ったあいさつ運動において、交通安全ボランティアさんや学校の教職員から推薦された41名の子どもたちが、11月12日(水)の児童朝会であいさつ名人として認定されました。あいさつ名人への推薦の視点は、「①大きな声で、②相手を見て、③自分から進んで」です。あいさつ名人の輪がどんどん広がっていくよう、1月にもあいさつ運動を行う予定です。



裏面に続きます➡

学校評価表（前期）の結果

学校では、教育の質の向上のために「学校評価」を行っています。「学校評価」とは、学校の教育活動やその他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づいて学校運営の改善を図ることを目的としているものです。具体的には、教育活動や学校運営等について各校で目標を設定し、その達成状況や取組について評価することにより、組織的・継続的な改善を図ります。また、その結果の公表・説明により、説明責任を果たし、保護者や地域の皆様の理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めていきます。前期に集約した学校評価表は、次のとおりです。保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。この結果を今後の取組に活かしていきたいと思います。

令和7年度			学 校 評 価 表			(中間評価)		
評価計画						自己評価		
項目	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	10月達成値	達成度	評価
【めあてをもつて学ぶ子】 確かな学力	○主体的に学習に取り組む意欲と態度の育成	○基礎的・基本的な学力の定着	・原小「学びのスタイル」の定着 ・朝タイムの充実 ・四則計算の定着 ・家庭学習の充実と定着 ・図書室利用の推進 ・シェア・タイムの実施	・原小「学びのスタイル」の「チャイムの合図で授業を始める。」の達成率が80%以上 ・単元末テスト(国・算)の平均点85点以上 ・図書の貸し出し目標冊数の達成率85%以上	80%以上	84 88.1 88.6	105 110 110	4 4 4
		○主体的・対話的で深い学びの実現	・国語科を中心とした「読む力」の向上をめざす授業づくり ・課題発見・解決学習の推進 ・自己決定の場を設定した学習 ・ICT機器の日常的な活用	・児童アンケートで主体的な学びに対する肯定的評価90%以上 ・児童アンケートで朝タイムやICT機器の活用に関する肯定的評価 ・確かめテスト学級平均点を85点以上	90%以上	91 90.5 88.0	101 100 104	3 3 4
【あたかな心】 豊かな心	○より良い人間関係を築く児童の育成	○自己肯定感の醸成	・縦割り班活動の充実 ・児童会・委員会活動の充実 ・自他を尊重しあう学級づくり ・不登校児童等の居場所づくり ・道徳科の授業改善	・自分の短所と長所を理解し、それを含めて自分が好きだと考える児童が80%以上 ・人の役に立っていると回答する児童が80%以上	80%以上	73.2 89.8	91.5 112	2 4
		○自律心の醸成	・生活目標の充実(朝の会での意識付け、帰りの会で振り返りの実施) ・「東広島スタンダード」の実施	・気持ちのよいあいさつ・返事ができると回答する児童が85%以上	85%以上	88.2	103	3
【やめく子】 健康でたくましい体の育成	○健康でたくましい体の育成	○運動意欲と体力の向上	・体育科の授業の充実 ・体育的行事等における目標をもった取組の工夫 ・外遊び、運動遊びの奨励(ロング昼休憩、学級遊び、縦割り班遊び、体育委員会主催行事)	・児童アンケートで運動することが好き、楽しいと回答する児童が90%以上	90%以上	91.4	101	3
		○基本的生活習慣の定着	・チャレンジデー(ノーメディア)の実施(年8回) ・健康教育、食育の充実 ・地域と連携した防災教育	・チャレンジデーに関する児童アンケートで、時間の使い方を工夫することができたと回答する児童が85%以上	85%以上	85	100	3
地域や保護者と協働し信頼される学校	○学校と地域との協働による学校教育目標の実現	○コミュニティ・スクールの推進 ○地域と関わる学習の充実	・情報発信と情報収集による相互交流の推進 ・地域素材を生かした、生活科・総合的な学習の時間における単元開発及び授業実践及び改善	・保護者の本校教育活動の満足度90%以上 ・地域の方とかかわりの充実に肯定的な教職員・児童90%以上	90%以上	89 91	99 101	2 3
	○働き方に対する教職員の意識改革推進	○子供と向き合う時間の確保と働き方についての意識高揚	・業績評価書に業務改善についての目標(目標時間設定を中心に)の設定	・時間外労働時間月45時間以下の教職員の割合 90%以上	90%以上	86	95	2

達成値/目標値を百分率で表示する

■ 自己評価
4...目標を上回って達成
3...目標どおりに達成
2...目標をやや下回って達成
1...目標をかなり下回って達成

[illegible]